


教材事例書式

<p>教材教具名 「不思議なおくりもの」</p>	<p>教科(国語)</p>	
<p>教材教具写真 前面</p>  <p>布を上げると他の人は様子が見られる。</p>	<p>背面</p>  <p>背面の丸い穴から手を入れて何が入っているかを考える</p>	
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 手探りで物の形や感触を確かめながら、中に何が入っているかを言い当てる。後で、名前を文字で書いてみるなどの学習活動を行う。</p> <p>2 発達段階 高等部でいえば、AからBグループ程度</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱の背面の丸い穴から手を入れて、中に何が入っているかを考える。 ・前面の布を開けると、他の人はその様子を見ることができる。 ・中に何が入っているかを言い当てる。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>どこにでもある発想の教材です。設定はどこからか宅配便が届きました。何が入っているのでしょうか?というものです。いきなり物を見せて名前を聞くより、少しワクワク、ドキドキしながら学習に取り組めると思います。手触りの変わった物や動く物、なども入れるとおもしろいと思います。</p>		